



■調査結果から
集計結果をまとめてみると、教育文化などの7分野ごとの平均満足度では、行財政分野が最も満足度が低くマイナス17・9%、次いで地域コミュニティ分野、産業経済分野の順で低くなっています。

満足度の低い分野は、これまでの実施してきた施策や事業が成果につながらず、町民の期待に届いていない可能性がります。このため、第5次振興計画に向けて、これまでの取組内容と町民ニーズとの関係を十分に検証する必要があります。

また、項目別でみると、水道、温泉活用、地産地消、青少年教育などは満足度が高く、これまで実施してきた取組みが町民から評価されていることがうかがえます。一方、商業・公共交通・雇用機会・住宅供給・市街地整備などは満足度が低く、これらの項目は、施策や事業の進捗度合いや効果などを検証し、町民の期待に応えられるように改善することが必要です。

続いて、7分野ごとの平均優先度をみると、保健医療福祉分野が56・3%と最も高く、次いで自然環境分野、都市基

盤分野の順になっています。これらの分野は、5次計画の中で特に重視して施策を講じることが必要です。

また、項目別にみると、医療体制・障害者福祉・高齢者福祉・教育環境・防犯体制の充実などは優先度が高く、高齢化社会への対応、少子化への対応、安心できる地域社会の構築などを優先する意向がうかがえます。これらの項目は、5次計画の中で施策や事業を重点的に講じていくことが必要です。

さらに、医療体制・障害者福祉・防犯体制・交通安全対策・公共交通の充実などは、満足度が低く、なおかつ優先度が高くなっています。これらの項目に係る施策や事業は、進捗度合いや事業効果などを検証して、一層効果的な内容になるよう改善することと、重点的に実施することが求められています。

■終わりに
紙面の都合で全項目に触れることはできませんでしたが、この調査結果など、町民の皆さんの声を反映させながら、町民満足度がさらに向上するまちづくりを進めていきたいと考えています。



町民参加によるまちづくりを進めるための「まちづくり委員会」が1月28日、農業者トレーニングセンターで行われました。委員会の委員は、各自治会ごとに設置した「地域づくり委員会」から選出していたいただいた方で構成しています。

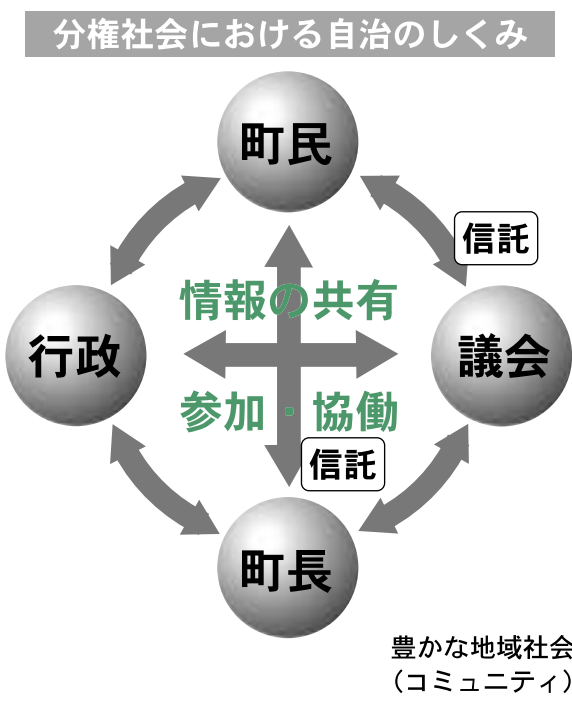


委員会は、芳賀町第5次振興計画（平成18年度～平成27年度）の策定と、(仮)まちづくり基本条例の策定過程において、町民の意見を反映させていこうとするものです。

町民一人ひとりが自ら考え、行動することがことによる「自治」が基本になります。自分たちのま

ち（地域社会）をどのように築いていくか、地域を構成する町民が互いに守っていく、基本のルールを文章化します。条例には、町民の権利や責務、行政の説明責任や行政評価の実施、町民が施策などについて意見を述べる町民意思表明（パブリック・コメント）、住民投票制度などを盛り込む方針です。町は、まちづくり委員会にたたき台を提示し、制定過程の中で意見をいただきながら素案をまとめ、まちづくり懇談会などでの意見確認のうえ、最終案をまとめ、議会の議決後、平成18年度か

まちの将来像を協議する まちづくり委員会発足



分権社会における自治のしくみ

豊かな地域社会 (コミュニティ)

らの施行を目指します。新しい振興計画の策定状況や条例の策定状況については、「広報はが」や町ホームページなどでお知らせしますので、ご意見などをお寄せください。

※協働：町民・議会・町の各主体が、互いに尊重し合い責任を共有し、連携してまちづくりに取り組むこと（広辞苑では、協力して働くこと）をいいます。

企画課政策推進室
TEL 028(67)6012